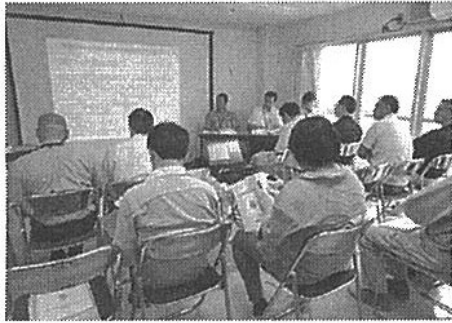


【オリコンサル 要配慮者利用施設 避難確保計画策定向け勉強会
土砂災害避難訓練で総合支援】



オリエンタルコンサル
タンスは、土砂災害に対
するリスクコミュニケーション
シヨンの一貫として、東
京都西多摩郡奥多摩町白
丸の要配慮者利用施設
「グリーンウッド奥多摩」
（社会福祉法人グリーン
ウッド）において、避難
確保計画の策定向けた

勉強会を開催した。写
真。さらに、9月25日に
は、奥多摩町と東京都建
設局西多摩建設事務所、
グリーンウッド奥多摩、
同町白丸地区の住民との
情報伝達訓練、避難の実
動訓練に関する
要配慮者
利用施設

避難確保計画策定向け勉強会

土砂災害避難訓練で総合支援

17年に改正
された土砂災
害防止法では、要配慮者
利用施設での避難確保計
画の策定と避難訓練の実
施が義務付けられた。奥
多摩町にはグリーンウッ
ド奥多摩のほか、約90
0箇所の土砂災害警戒区

域内に要配慮者利用施設
が13施設あり、今後、こ
れらの全ての施設での避
難確保計画の策定と避難
訓練の実施が必要とな
る。
また、奥多摩町は高齢

理者との避難誘導に対す
る連携体制の構築が求め
られている。
同社は、同町との協働
による社会実験として、
18年4月から導入してい
る「土砂災害警戒情報支
援システム」、
19年9月から
設置している

「AI付水位
監視カメラ」
「AI付水位
監視カメラ」
により、要配慮者利用施
設の管理者や住民への避
難誘導に関する情報提供
の支援を行った。また、
今回の訓練では、要配慮
者利用施設であるグリー
ンウッド奥多摩の施設利
用者が施設内での垂直避
難を含む具体的な避難
を、ミライ口の協力を得
て実施し、避難行動の実
効性の検証を行った。
今後、同社は、今回の
訓練で得られた情報伝達
や避難誘導における知
見、最新のIoTやAI
技術を活用して、要配慮
者利用施設での避難確保
計画の策定と避難訓練の
実施に対する支援を展開
し、さらに、要配慮者利
用施設を含め、地域住民
の安全・安心の実現に向
け、効果的な防災行政の
支援に取り組んでいく。